馬揃へ

十五

別13
25
28

別圖
18

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

馬揃

さうなのひさ新朝りりる城めされ此る此美
とも名美うつ乃若事きんぐくのうつ此さん
とうつ乃天命家よ志よくんしてくるやうれ花
乃佐ぶきいでするひ申ぶうふぜい形り的
美とうつうつ先ぶそそふやうくときをうく
ふくるまひぶん城海りり此たのみてるんとの此徒
なりそりるぶ形り先くるをうめくたき入る
美代と男ひ海の海り城行り三浦の縮ふ佐く
うの三浦乃恥すけすーあきらい年清月く

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

百六ゐ成しゝ年で重のひかりひらくるに
重くゝ知りそまつて嬢子ちさのゝ太郎殿
そうゝ乃むこ太郎をひそかゝゝ乃ゐ
乃ゐ判ぜ知りみゝ世子ゝ生まことをよいのり
ゐもあうゝんすをみい後生のうゝへすを
そうゝ乃

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

うんるむろろとしをのうきむとそ大夜うり
うもくくもちをれ うしあうさとしんしんあ
ひんろあうさうしたり城あるあるるうんあさ
くむるーく草うんろんうちきさるあきー
きいてうあくくとさん面きんくうとあそ
城ううあをうり紙角ろ面ー さきたうろ
ぎんいうのう義事城ううさつ草れいあり
かるをあうむうー城ろのひ老かろうう
あうさうを人るうは山かもうさるあけきとも
氏老うるはたうゆき城るひくいかうるる

してうへをうわはさのかうしまう
うあまとあけてをいくうあーさ かうく
めくたさうう君乃は判城はうさ事一服
乃うめのうあさうよ浮木(ふかく)よあんるうう
とうくるやうあうやさんとそ三浦三百九
十三騎とるうちやうよんん城すんきかるの
まれまうそきうをりるるきちものうちよ
はくはりかーよ義のすけ他行のはひさはや
すけお合足(ぐんざ)義あそみそはたひたはあきか
あけきたちるー者うるはううきちれ

すけ上総乃ぜけてゑ門のあそ一方うけ
てゆるゆるまうりさんへは越そ海りうけゆ
ちいしの乃ぜうゆりゑはまくあまいた
くるくるくるもどて　ゆうるるにそ弦
をきまろひゑをひきにきりりゆりゆを
城そて野まをやまをみそそそきまろ
いそ海しひたそゆ義のうちをそいくよきろ
うしそろりゆ義のすけ乃ぜた孫ろ
たうにゆ孫ゆひうそむちんゆ向く賞ゆ
まりゆうを乃をそてのうるれ対面乃ぜく

うそも器乃ぜ彼うそりゆへそまろひうはめん
ゆまそいゆまそまちそうそ海ゆ対面校ゆう
ま城うそうぜ乃ぜた孫ゆくそはやゆくい
ゆをけいゆそうやそうきうひつろ孫すけ
乃ゆゆゆゆ上総のすけうまゆうそちもの
をけを義ゆんそのぜを義ゆそい

はるかに遠くもいかるもちまを入るうは西東を
やさきていをのうれたるひうりさらうう
をとも一騎成とも味方おゝ勇ましきけ
る名しを名代ありく色也　いそく
つとやうちやうさひとゝ引もとんと切りか
ゝるをゝ義のをけいせう梅きんうそ以へ
ませいかりくを寄せ百騎まて寄むをて
るうちやうゝ判をすんくきこよのまき寄
そきゝりりうりるいをんちやうかく
ちやうるんあひろうをうこうさゝのへうをこ

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

しるしを始まいらせさうの面部ゆへ十三ケ
所大名い七十余人かゝ数をきりをとれをと
らうとうん成すへ君かこのまれまうけの用
もりるゝい伊豆(いづ)の田中成いそく百姓月とや
あけゆこゝろ人このは稚れたうん成とうをゆく
ゆこ座乃活而座そうへられまうはりうゆう
をこう人乃ゆあね人こうなるうけまさうる
れ拍伊豆のおやまはちうんをめられたくを
味方をまうはゆ成をこうしーと第うまきう
成ちやくこう付くは焼まま軍切れ活せい

ゆ上三百五十三騎うりきうくうくうくもう
ちやくこうひきんの数元のいすけうきうきん
乃こうあなまはめんくのるをを一月うん
この活記乃形りはそ先一海ゆ君れ活家
乃まあさのきくこのは郎座れ海をこれと
りゆむまは成と成さまこう西白のむまれゆや
こまうすこまとはうけてあこうやをくーゆう
らんこの活さをこてあまはあこきんれ
大拍ゆさくゆ乃は郎たうはるのようきうゆ
白鞠をうせきうさゆさこうせはおをと成さま

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

かりはきとろのむまのふせんなるこゝにゆ
ゆ緒のうとりさきしまのそんかるとと
とうとゝかめてそ通されけりを沢をそなき
をとひのこくろよゆくゝをろせはゆへを通
さきさりこのむまとやのきまきまさおのなる
まていさきよいさひくおの足をけんとあけ
うろのあをひのきさうらをふつてめ
伐足制おとりてくいちふ　あきををて
らぬ名馬うるととうとかめくそそ様ーきら

その作さをそなへあまたさそをはあうとゝゆ
業乃位部とゝきまきのさゝあゝあゝけといゆ
ひまゆおちろゝゝをうせゝちろゝさかさゝせゝ六人
乃ゝ移りゆ乞ゝちせはは海人紙と紙さ毫ゝりれ
りゝ乃乃るの風情やゝやあのむまゝとゝい鬱い
姫ゝうゝてゝゝちゝ右のれをうかゝちゝを
るくみくいゝゝうくゝちいゝさゝてゝよゝひるゝ
くゝゆゝうゝてゝゝちひ作ゝてゝゝうゝむ絲を
いゝくゝゝさゝりゝゆゝりるゝゝちいゝさゝゝまけへ
ゝさるゝゝゝゝゝちうゝ乃ゝゝのゝゝゝうゝゝくゝゆゝり

右右乃をくゝをうゝのひゝてゝん毫ゝゝん毫
ゝゝ里ゝゝもひゝくゝ二面さゝゝ毫ゝゝ毫ゝゝ
ゆゆ也をゝうゝさゝまゝさんゆゝうゝゝゝゝゝりゝゝゆゝあれ作ゝさ
さゝ作ゝま絲の鬱ゝゝゝ城のへゝゝへゝゝあゝゝ
作ゆゝをゆ作ゝゝてゝくゝゝゝゝしゝゝ墨をゝゝと作ゝゝ
るゝゝゝゝおゝゝゝまゝゝを秋の廉を山城ゝゝひゝゝゝ
くゝくゝ也ゝゝゝゝゝゝゝゝ見ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ大毫へ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ものをもゆはいてまきうねさあり[illegible]まれ
りさかひうみとうとかりあてそそ[illegible]きう
もぬぬうしめとけりさりしのすうりいうはちち
かりけうう殿すけううれはちありけねもろ
のうんしや義女くう[illegible]殿う異別うりけぬ
まうの平内うとひすうあ南条うか[illegible]うう
けねうかりうかうけ紅三郎の源たうもくれ
みよさう殿たう器ムうきはちやれ三郎うう
つさけ梅[illegible]うみやまうけたねきのは郎う
黒かすけ熱して名るかうなくいありうふち黒

うけつうふちうけふちあひさうふちうう
うりけひめうりけ我もしくと[illegible]きうり
上三百又十三騎[illegible]川[illegible]をうらあ高也
を頼朝新治義宗年八月の世三月小兵具そ
ろへるそろへめされていを久ものき源氏れ
ものうをかのくとさあけまあはうう
ふう宝に打あ[illegible]はけをあうれしう清代殿
めさまんを為りを勢七騎を引ようくうひ
乃屋とうううあを法紅よめされあをれ
まう酒どんうけ梅きみのうよものうをうを殿さう

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

あけ弥へた三浦よこ山うんこ屋ひよーを
懸しあそ君乃ゆきよ市兎有みいさやさう
そ寄らんとよ弥二ふ弥百弥二百弥うち法華
く系箱よ実蔵乃ゑとうやあうのろくちよ
ふんそい乃ゑのおそてちやくうう法けて見
弥へい

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

別13
25
28

よわとものの法せい世八万端よりてくるくるう
世ゆひて二天に海よりをとる月平家を三年
三月ゆせあるひけ天下をおさめ給ふ事八
懐大かさん乃法ちうひとそやこと書く

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『馬揃』　請求記号 本別13-28

ガラス使用